

幼稚園では、3日に節分の本堂お参りをして健康祈願を行います。各クラスの豆まきでは、子どもたちも、自分たちで、紙袋や段ボール箱を使って作った鬼の面をかぶり「福は内、鬼は外」とみんなで豆まきをして、泣きむし鬼、風邪ひき鬼などの悪い鬼を追い出して、心身共に健康を願いながら楽しめます。また、暦のうえでは4日は立春ですが、寒さがもっとも厳しい2月を迎え風邪もはやってきましたので、お家でも健康に十分留意していただき、寒い冬をのりきってください。

ね は ん え
涅槃会



お釈迦さまは、今からおよそ2500年前の2月15日沙羅双樹の木陰でお亡くなりになりました。お釈迦さまは、多くの人々に正しく生きる道を教えられ、お釈迦さまが亡くなられてもその教えは、いつまでもほとけさまを拝む一人ひとりの心の中に生き続けております。ほとけさまの教えをうたった詩に次の一節があります。
(ほとけの子2月号誌もご一読ください)

考え深い人間となろう
どんなときでも自分でよくきき よくみて考えよう
ほとけさまは智慧のひかり 深い考えからうまれた静けさ
わたしたちは静かに落ち着いて考え
何事も最後までやりとげよう
知識だけでなく 身についた智恵をみがこう
考え深い人間となろう



ぜんじょうせいじゃく
禅定静寂の保育

もし、あなたのご覧になっているテレビで、5秒間、同じ画面が続いたら、どうお感じになりますか？「ほんの5秒でしょ」とおっしゃるかもしれませんね。でも、こんなに短いときでも、多くの人がテレビ局のミスではないかと感じるのだそうです。

絶え間なく新しい刺激、より強い刺激が繰り返される「情報社会」の現在。その中で生きる子どもたちにとって「禅定静寂」は難しいことですが、だからこそ、たいへん重要なことなのです。

仏教で実践し、学ぶべき「三学」。「戒」「慧」と「定」も共に、そのひとつとしてお釈迦様ご在世の当時から重要視されてきました。心静かに落ち着くこと。そっと目を閉じて外から聞こえる音に耳を傾けること。

そうした場としても、仏教園での「礼拝」はおいおいに誇るべき大事な活動であり、環境です。もちろん子どもたちにとって、元気に活動することも大切です。しかし、このような「動」にただおもねってしまうのではなく、「静」の時間も、大事に育てていきたいものです。

合掌

◇ 2月の予定 ◇

= 作品展 =

第40回作品展は2月11日(土)に開催します。子どもたちは、作品展に向けて提供していただいた素材を使ってイメージをふくらませ、思い思いに組み合わせたりしています。今年度は、観覧時間が異なりますので、別紙作品展関係のお手紙をよく読んでご来園ください。当日は、登園日として出席扱いになります。(園児1名につき保護者1名でお願いします)準備等の為2月10日(金)は1号・新2号認定児短縮保育、2月13日(月)は1号・新2号認定児振替休園となります。作品展の素材(廃材)のご協力ありがとうございました。

= 節分会・豆まき =

2月3日(金)節分会での祈願で厄払いして、豆まきではかぜひき鬼や心の鬼を追い出して一年間健康で過ごせるようにします。また、2月3日(金)は10時頃から西願寺にて節分会法要を行います。詳しくは、たより「令和5年 厄払い節分会法要(豆まきのご案内)」をご覧ください。

